

子どもがいる家庭の

騒音トラブル対策

【アドバイス】NPO法人 TMCC
(東京マンションコミュニティセンター)

●事務局長・柳田好史さん

●事務局長兼一級建築士・志知久仁彦さん

集合住宅でのトラブルや異議の相談窓口として設立された特定非営利活動法人。税理士、弁護士、一級建築士、マンション管理士、管理業務主任者などの有資格者が、相談受け付けと助言などを行っています。

www.tmcc.npo-jp.net/

「こっこチャンネル」のページでも繰り返し話題に上る騒音トラブル。何か打開策を見つけたい!と、マンショントラブル対策のプロのもとへ。音が伝わるしくみや防音対策、ご近所とのつき合い方などをご紹介します。

大きな声

空気を伝わっていく空気音。ドアや窓だけでなく、ちょっとしたすきまや穴があればそこからもれていきます。大人の声は注意できても、子どもの泣き声は止めることができず、子どもがいる家庭では悩みのたねですね。



足音

跳びはねたドスンという音やスリッパのバタバタという音が、床材や床下部を振動させ、階下の天井へと伝わる固体音。スリッパのバタバタ音は、とくにフローリングで響きやすく、思った以上に階下へと響き渡ります。



洗濯機の音

脱水のときなどの洗濯機の大きな振動が床材を震わせ、下の階だけでなく床伝いに隣にも響きます。さらに排水の音が、配管を通して響いている場合もあります。



気になる集合住宅の音



どんな音が問題に? 音には、空気中を伝わって聞こえる「空気音」と、壁や床など固体の振動で伝わる「固体音」があります。人の声やテレビの音は空気音、足音や物の落下音は固体音で、空気音と固体音では防音対策が異なります。ピアノやステレオは空気音ですが、床への振動が固体音としても伝わるので、二重の対策が必要です。問題は音がどっちで、どこを伝わっているかを知りましょう。配管や換気扇のダクトを通じて伝わる空気音は、音の出所がわかりづらいことも。

その他の生活音

トイレや風呂の水が流れる音、ドアの開閉音、椅子を引きずる音、物を落としたときの音、掃除機、換気扇のファンの音など。生活していればあらゆる音が発生しますが、それらがときとしてご近所の騒音になっていることも。



ペットの鳴き声
トラブルでは、ほえ喚け、吠え、スレップ禁止のマンションで鳴き声がするなどの多いケース。鳴き声だけでなく、においや排泄物の処理と合わせれば近所迷惑的なトラブルになりがち。



テレビや楽器の音

上下階よりも、隣から聞こえてくること多いテレビの音。空気音なので、壁のすきまなどから音がもれるためです。楽器は音エネルギーが非常に大きく、八方に拡散しています。



床や窓などから できる範囲で

集合住宅は床、壁、天井、配管などを共用している以上、「音を完全にシャットアウトするのは無理」と一級建築士の志知さん。だからこそ深刻な問題ともいえます。音はもれているという前提で、少しでも改善する方法を考えましょう。たとえば空気音は壁や床でさえぎる工夫をすることでかなり小さくなるし、音源となるものの使い方や使う時間を気をつけることで、音を減らすことができます。賃貸住宅でもできる物理的な対策、暮らし方の工夫などを紹介します。

窓

カーテンは重量のあるものに

閉し声や泣き声は、窓を開けて空気をさえぎるだけでずいぶん違います。逆に1個でも開いていると、音の伝わりは伝わります。少し本格的にできる場合は、プロに依頼して窓ガラスに防音フィルムをはるのも一案です。窓やドアにすきまがあるお宅はすきまテープを、さらにカーテンは必ず二重にし、1枚は重いものにするのが効果的。重い分振動が伝わりにくくなるので、音の伝わりも減ります。



床

遊ばせるなら洋室より和室

い音がみついたら、部屋の構造をみてみる。フローリングよりもはるかに振動を吸収します。子どもが日中過ごす部屋は、和室のほうがおススメ。フローリングの部屋に置き置を敷いても、同様の効果が得られますが、子どもが跳びはねたときのドスンという音は遮断できません。はねれば「ここは危ないから、また、スリッパをかかとのある室内履きにして、バタバタ音の防止を。」



敷物で衝撃を吸収

じゅうたんやマットを二重に敷いて、衝撃を吸収するのも手。衝撃吸収用のラバーマットが理想ですが、市販のスポンジマットでもいくらか効果があります。ただし、へたっぺり薄くなったら効果がありません。じゅうたんには防音仕様のもので市販されています。履物も物を落としたり、椅子を出し入れするタイミングテーブルの下にはラグマットを。

対策

床の音

軽量衝撃音

スリッパの音など

スプーンを落とした音やスリッパのバタバタという音など、高くても力強い音。やわらかいものでカバーすると、ある程度減らせます。LH値で表示。

重量衝撃音

ドタドタ歩く音など

パターン、ドシンンなど重くて鈍い音。床のコンクリート厚や仕様など、建物の構造で遮音性が決まるので、対策は難しいものです。LL値で表示。

床の音の伝わり方

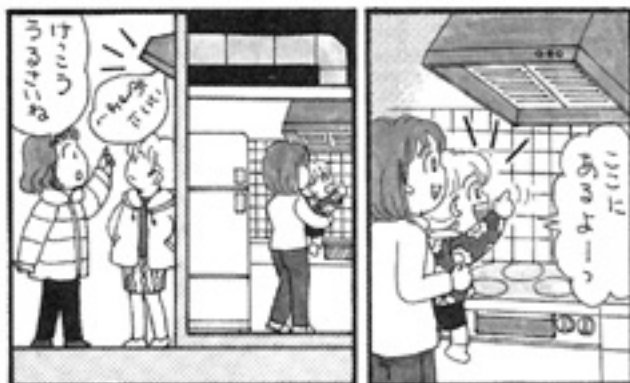
床の衝撃音は、ちょうど太鼓が中の空気を震わせて大きな音を出すように、階下へと響いていきます。たとえば子どもが走った音で床材が揺れ、この振動が上下階の間の空気を揺動させます。振動は増幅されながら下の階の天井や壁に伝わり、反射して階下の人の耳に届くのです。高い音は床を通過するときにある程度吸収されるため、下にはあまり伝わりません。スプーンの金属音が低い衝撃音として伝わるのはこのためです。



その他の音

どんな生活音が出るのかを チェックして

子どものたてる音にはかり気をとられがちですが、実はそのほかにもいろんな音が外にもれています。洗濯機や掃除機、ドアの開閉、椅子やテーブルを引く音など、これらは使い方や生活パターンなど、その人なりの特徴になっていくことから、音をたてている側は自覚していないことが多いです。今一度チェックしてみましょう。使い方や使用時間を減らえることで迷惑にならないように、防音ゴムなどを使うことで軽減できるものも、気をつけたいポイントのひとつです。



換気扇のファンの音は、ダクトで反響して意外と響くもの。建物の構造によるので、早朝・深夜の使用を避ける以外手だてなし。

換気扇のスイッチを入れ、ダクトの排気口に立ってみて、キッチンやふろの音がまる聞こえの場所も。排気口は入ランダや共用通路にありません。



椅子やテーブルの脚にゴムやフェルトをつけたりラグマットを敷く。



洗濯機は深夜と早朝の使用を避け、洗濯に合った防振ゴムを。



引き戸に戸当たりテープをはったり、ドアの場合はドアチェッカー（ゆっくり戻る金具）を。

壁側には本棚や大型家具を

壁側に何を置くかで、隣の音もれ具合が変わります。空気層は距離が離れば届く音は少なくなります。テレビやオーディオ機器は、隣と接している壁側には置かず、できるだけ離れた場所に設置。代わりに壁側には本棚や大型家具など、振動しにくい重いものを置きます。ただし、いくら重い家具でもローボードでは効果はありませんが、壁面全体を覆って、もう一つの壁になるようなものを。



うしろの音も 聞くとどうなる?

わが家の音のもれ具合を知ると、いくつかのヒントがあります。上の階のふろやトイレの排水音が聞こえていれば、配管を通じてわが家の生活音も聞こえていると考えられます。ペランダ越しに隣の音が聞こえるなら、換気扇の穴や開口部から音がもれている証拠。キッチンの換気扇の下に立つと外の音が聞こえるようなら、排気口を通じて室内の音も外に出ています。構造上の問題なので対処は難しいですが、その付近で不要な音をたてないことはできますね。

次に不動産を探す ときのヒント

賃貸の場合は不動産屋さん、設計図面の有無と近所状況を聞いてみましょう。設計図では壁と床厚をチェック。鉄筋壁で15・18cm、床は20・23cmを一応の目安に、防音ゴムのついた二重床ならさらに安心。また、近所は、同じような生活リズムが予想される世帯かどうかを確認。分譲の場合は、建築家など第三者の専門家に見てもらったことをおすすめします。費用(3万・5万円程度)はかかりますが、大きな買い物なので失敗を考えれば安い費用です。

音源のあたりから

楽器とペットはトラブルになりがち。楽器は音エネルギーが非常に大きいうえ、徹底的にたてる音なので、防音壁など専用の設備を施すのがマナーです。ペットについては、一定のルールがあるのが一般的。それを守ったうえで、さらに近所への配慮も大切に。どちらの場合も、最初にあいさつしておきましょう。音源のあいさつも欠かせず、「うさぎを飼っていますか?」とこちらが音に気をつけていることを知ってもらう努力を。



ご近所との コミュニケーションが いちばんの トラブル対策

上下階でも おつき合いを

音を不快と感じるレベルは人によって差があるし、同じ人でも体調や心の状態が変わります。気心が知れている仲ではお互いさまで済む音も、知らない人がたてれば無神経なものに聞こえます。ご近所つき合いをすることが、いちばんの解決法。とくに上下階は顔を合わせる機会が少なく、疎遠になりがち。まずはあいさつから始めてみて

苦情はまず 管理会社へ

苦情を相手に直接言うとうつ、かえってこじれることも。分譲の場合は管理組合を、賃貸の場合は管理会社を通して言われた場合は、まずできる範囲の対策を施し、「こんな対策をしてみました」「まだうるさかったら言ってみよう」とあいさつを。こちらが対処したことを、角が立たない言い方で伝えます。その後も、気づかいをアピールして

こっこマンション

私たちの トラブル対策



パネルカーペット

神奈川県 横川真由美さん
甥くん3才2カ月

家の8割以上に防音性のあるカーペットを敷いています。普通の防音カーペットの部屋もありますが、おすめはパネルカーペット。吸音性はもちろん、汚れたらそのパネルだけは洗えるので、子どもがいる家にぴったり。色柄も豊富です。

防音カーペット

大阪府 中川夕子さん
甥太くん1才8カ月

いろいろ試してみましたが、防音カーペットは効果があるほうだと思います。耳をつけてみると、子どもの足音は吸収されている感じがします。価格は普通のじゅうたんより割高。色バリエーションは、3つくらいありました。

洋室にシステム畳

岐阜県 たくたくママ
男の子1才2カ月

賃貸仲介会社の勤務経験から、子どもが遊ぶ部屋は洋室にシステム畳を敷くのがおすめ。アパートの和室は、畳の下は板一枚で下階の屋根裏のことも。防音は期待できません。



上階の人に手紙を

青森県 須藤千春さん
甥くん11カ月

一晩中夜泣きしたとき、申し訳なく、翌朝、上の階の人におわびの手紙を書きました。これをきっかけに交流するようになった。以前は気になっていた上の階の人の足音や戸の開閉音が、今では「いるんだな」くらいに思えるようになりました。

ジャンプはベッドで

兵庫県 小林美代さん
甥くん2才10カ月

ジャンプするのはベッドの上で決めていきます。「ダメ」と言うと余計やるのは目に見えているので、「床に落ちるよりこっこのほうが楽しいよ」と楽しさをアピールしました。



事前にあいさつ

兵庫県 ちまりんさん
女の子1才4カ月

お客さまのあるときは、普段よりうるさくなるので、ケーキなどを持って前もってあいさつにうかがいます。理由がわかっているほうが、不快感は少ないと思うから。



ゴム製のマット

愛知県 杉山裕子さん
甥くん2才3カ月

子ども部屋にはマットを敷いています。30cm×30cmで、好きならだけつなげるタイプ。やわらかいゴム製で、厚さは15cmくらい。かなり吸音するし、ふき掃除ができるし、冬は温かいです。カラルなので、子どももお気に入り。

音の出る玩具には

長野県 仁垣美さん
甥太くん1才8カ月

音の出るおもちゃは、スピーカーの部分にテープをはっています。磁石テープを横に2本くらいはればOK。市販のおもちゃにテープがついていないのがヒントに。



